＜福島大学独自免除＞　　日本人在学生用 **【継続】**

令 和 7 年 度 後 期 分 授 業 料 免 除 申 請 要 領

下記に掲げる「1. 免除対象者」のいずれかに該当する場合は、本人の申請に基づき、選考の上、授業料の全額又は一部を免除することがあります。免除を希望する者は、下記により申請してください。

1. 免除対象者

（1）**【大学院生】経済的理由**により授業料の納入が困難であり、かつ**学業優秀**と認められる大学院生

（2）**【学類生・大学院生】**授業料の納期（後期 10 月）前6ヶ月以内に学生の学資負担者が死亡し、または本人若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けたことにより授業料の納入が著しく困難な者

（3）前記（2）に準ずる場合で、学長が相当と認める理由がある場合

・東日本大震災等の激甚災害により被災し、授業料の納入が困難な者

・高校卒業から3年以上経過したことにより、国の修学支援新制度(JASSO 給付奨学生)の支援が受けられない学類生（※ただし、JASSO 給付奨学生の家計基準を満たしている者）

【特例事項】 最短修業年限超過の者は、**特別の事由(病気、留学、大学院生の論文作成等)**がある場合に限り**超過期間１年目**のみ申請をすることが出来ます。

2. 申請書類

（1） **授業料免除（継続）願兼**
前期申請者の家計状況チェックシート　　・・・3～4頁

（2） **授業料免除調書**（該当者のみ）　　・・・5～6頁

（3） **所得課税証明書（令和6年分）**

（4）（1）で該当する証明書類

※（1）、（3）は全員提出

3. 受付期間等

受 付 期 限　：　令和7年9月26日(金) 16 時 20 分まで

※受付期限を過ぎての提出はいかなる理由があっても受付けません。

申 請 方 法　：　(1) 申請書類の準備

(2) Google フォームによる入力：https://forms.gle/GHgHM3tZW2iuKpM46

※入力の際は情報基盤センターアカウントでログインしてください。

※Google フォームへの入力と申請書類のアップロードを行ってください。

4. 注意事項

（1） 免除を申請した者は選考結果が発表されるまでの間、授業料の徴収が猶予されます。選考結果発表前に**納入された授業料は返還できませんので注意してください**。

（2） 選考結果の発表については、ライブキャンパスでお知らせします。（結果発表は12月中旬予定）

（3） **申請書類に不備がありますと選考対象から除外されます**ので、本要領等を熟読の上、申請書類に不備のないよう注意してください。申請書類は**令和7年10月1日現在の内容で記入**してください。

（4） 選考を適切に行うため、その事情を証明する書類が必要です。なお、提出いただいた個人情報は、授業料免除選考以外の目的には使用されません。

（5） **大学の予算の都合上、申請者の増減によっては、前回の免除結果と異なる場合もあります。念のため、授業料納入の準備を進めてください。**

＜参考＞　授業料免除の選考基準

下記の「**１．収入基準**」及び「**２．学力基準**」の<u>両方</u>を満たしていることが必要です。

１．収入基準（おおよその目安です。免除予算枠を基準該当者が上回ると基準内でも免除にならない場合があります。）

世帯の特別の事情により異なるが、**世帯の年間総所得金額（世帯全員の合計）**が次の収入基準額**以下**であること。

区分／世帯人員	学類生		大学院生（修士・博士前期）		大学院生（博士後期）	
	自宅通学	自宅外通学	自宅通学	自宅外通学	自宅通学	自宅外通学
１人	１９５万円	２３９万円	２１０万円	２５４万円	２８２万円	３２６万円
２人	２９４万円	３３８万円	３１８万円	３６２万円	４３２万円	４７６万円
３人	３３４万円	３７８万円	３６２万円	４０６万円	４９５万円	５３９万円
４人	３６２万円	４０６万円	３９２万円	４３６万円	５３５万円	５７９万円
５人	３８８万円	４３２万円	４２１万円	４６５万円	５７６万円	６２０万円
６人	４０６万円	４５０万円	４４０万円	４８４万円	６０２万円	６４６万円

＊　総所得金額＝総収入金額－①必要経費－②特別控除額（世帯の特別の事情）

①必要経費

○給与収入者（年金受給者も含む。給与収入者が２人以上いる場合は各人別に行う。給与収入は所得税等控除前の額）

・収入金額１０４万円以下　⇒　収入金額と同じ
・収入金額１０５万円～２００万円の場合　⇒　収入金額×０．２＋８３万円
・収入金額２０１万円～６５３万円の場合　⇒　収入金額×０．３＋６２万円
・収入金額６５４万円以上の場合　⇒　２５８万円

○給与収入以外の者（商業、農業、その他の職業及び臨時的所得等）
その収入を得るために費やした経費（税申告書の必要経費）

②特別控除額（世帯の特別の事情）
就学者、障害者、長期療養者等がいる場合、母（父）子家庭に該当する場合等に控除されます。
就学者＝小学：31、中学：46、高校：39～118、高専：39～118、専修 39～147、大学：74～180
心身障がい者＝99、母（父）子家庭＝99　　単位：万円

２．学力基準

（１）学類学生

①１年次生
入学試験の合格者。

②２年次生以上
基準日現在の<u>修得単位数が下表の**修業年次の標準修得単位数以上**</u>であり、<u>**かつ**、当該修得科目数の**７０％（夜間主コースは６０％）以上が「Ｂ」以上**</u>の成績であること。

③編入学及び学士入学した者については、上記①を準用する。

（２）大学院生

①１年次生
入学試験の合格者。

②２年次生
申請時の<u>修得単位数が下表の**修業年次の標準修得単位数以上**</u>であり、<u>**かつ**、当該修得科目数の**７０％以上が「Ｂ」以上**</u>の成績であること。

＊　母子家庭、生活保護世帯等については、「学力基準」が<u>若干</u>、緩和される場合もあります。
（標準修得単位数を除く）。

＜修業年次の標準修得単位数（累計）＞※昨年度の例のため変更となる場合があります。

学年／学類等	２年次生（１年次修得単位）	３年次生（１～２年次修得単位）	４年次生（１～３年次修得単位）
人間発達・行政政策・経済経営・共生システム理工・食農・夜間主	３１	６２	９３
大　学　院（修士課程・博士前期課程）	１６		
大　学　院（専門職学位課程）	２４		
大　学　院（博士後期課程）	６	１０	

※食農科学研究科２年次生は別紙「食農科学研究科における履修科目の確認について」を提出してください。

大学使用欄のため記入不要→

一般・災害

授業料免除（継続）願 兼
前期申請者の家計状況チェックシート

※前期申請時から変更がある場合は「はい」を、ない場合は「いいえ」に〇を付けてください。（No.1を除く）

※前期申請時から変更がある場合は、「授業料免除調書」および「提出書類等」欄にある書類を提出してください。
（「いいえ」の項目は提出不要。）

※提出書類については**裏面の【記入上の注意】**も参照してください。

◆前期申請状況および世帯について

No.	項目	はい・いいえ		提出書類等
1	令和７年度**前期分**授業料免除申請をしていますか？	はい	いいえ	「いいえ」の方は、この様式での申請はできません。【新規用】の申請書類一式をそろえて提出してください。
2	あなたの通学形態に変更はありますか。 例　：　自宅（実家）⇔自宅外(アパート)	はい	いいえ	アパート契約書の写し又は住民票謄本
3	家族構成に変更はありますか。 例　：　出生、死亡、結婚、離婚、兄弟の独立、祖父母との同居	はい	いいえ	家計支持者が増えた場合 →※２参照
4	進学又は退学(除籍含む)した兄弟等はいますか。	はい	いいえ	就学者が増えた場合 →※３参照
5	通学形態に変更があった兄弟等はいますか。 例　：　自宅（実家）⇔自宅外(アパート)	はい	いいえ	アパート契約書の写し又は住民票

◆収入について

No.	項目	はい・いいえ		提出書類等
6	就職（開業）又は退職（廃業）又は転職した家族はいますか。	はい	いいえ	年収(見込)証明願（別紙様式4）、又は退職証明書、又は無職無収入申立書（別紙様式5）
7	転職等で給与収入に大幅な変動があった家族はいますか。	はい	いいえ	年収(見込)証明願（別紙様式4）
8	年金、失業給付、生活保護、各種手当の受給を開始した。又は終了した家族はいますか。	はい	いいえ	最新の支給額を証明する書類※４
9	年金、失業給付、生活保護、各種手当で大幅な額の改定があった家族はいますか。	はい	いいえ	最新の支給額を証明する書類※４
10	養育費に変動がありますか。	はい	いいえ	記入→月額　　万円
11	基準日(※1)前6カ月以内に臨時所得(資産譲渡、山林所得等)はありましたか。	はい	いいえ	確定申告書(写)又は契約書等で金額、受領月日等収入状況がわかるもの
12	基準日(※1)前6カ月以内に受給を開始した奨学金はありますか。（JASSO以外の給付奨学金が対象）	はい	いいえ	奨学金名（　　） 月額　　万円

◆控除について

No.	項目	はい・いいえ		提出書類等
13	新たに障害者の認定を受けた家族はいますか。 例 ： 障害者(療育)手帳の交付、障害年金の受給開始	はい	いいえ	障害者手帳のコピー等※５
14	長期療養者の増減あるいは療養費に大幅な変動はありますか。	はい	いいえ	長期療養申立書 （別紙様式7）※６
15	家計支持者の単身赴任費用の大幅な変動はありますか。	はい	いいえ	別居世帯の必要経費申立書 （別紙様式9）※７
16	家計支持者の死亡・風水害等による家計の急変はありますか。	はい	いいえ	免除願又は徴収猶予願に記入

令和７年度後期分の授業料免除を申請します。
また、上記の回答に相違ありません。

日　付	
学籍番号	
氏　名	

⇒裏面の【記入上の注意】(※1～7)も参照してください。

【記入上の注意】

※1 基準日は、令和７年１０月１日とする。

※2 住民票謄本（ひとり親世帯の場合は戸籍謄本も）及び令和６年分の源泉徴収票のコピー、又は令和６年分の確定申告書(控)のコピー(第一表・第二表とも提出すること)

※3 国立学校以外については、当該在学校所定の在学証明書。
国立学校のみ基準日(※1)に在学する者は、授業料免除状況証明願（別紙様式6)

※4 令和６年分の年金(恩給)等の源泉徴収票、雇用保険受給資格者証、最新の支給額改定通知書、振込通知書(1回分で可)、いずれか一つのコピー。年金受給者は(別紙様式10)に貼付

※5 障害者手帳のコピー又は社会保険事務所長等の証明書、認定書のコピー(要介護度のわかる書類)

※6 長期療養申立書（別紙様式7）基準日(※1)前6カ月間の支払金額(又は療養開始後6カ月間の支払予定金額)及び今後の療養期間を明記したもの

※7 別居世帯の必要経費申立書（別紙様式9）　基準日(※１)前1年間に別居のために支出した住居費・光熱水費の支払証明書又は領収書のコピー、給与明細書（職場からの補助がある場合）を添付

授　業　料　免　除　調　書

☐ 社会人等学生

＊この調書は「後期分授業料免除（継続）願　兼　前期申請者の家計状況チェックシート」の No.1 以外の項目で「はい」があった場合のみ提出してください。

＊パソコン入力可です。

申請者	学籍番号		通学区分 ※ 1. 自宅 2. 自宅外
	氏（フリガナ）名		入学年度（西暦） 年度 *2022 以降
	現住所	（〒　　）	
	携帯番号		
保護者	氏（フリガナ）名	申請者との続柄（　　）	
	現住所	（〒　　）	
	電話番号		

1．休学歴	期　間	～	理　由	※　留学・病気・その他（　　）

2．家庭状況　記入上の注意）５参照

	続柄	氏　名	年齢	現在の職業（勤務先）	給与収入の計（千円）	給与収入以外の計（千円）
就学者を除く家族	本人			学生（福島大学）		
	父					
	母					

大学認定	家族数	人	独立生計者	☐　該　当	母子父子世帯	☐　該　当	多子世帯　☐ 該当
	申請区分	1:一般　2:家計　3:学力　4:事由 5:事情（家計支持者死亡）　6:事情（災害）　7:事情（その他）			辞退	☐　有り	

□部分は大学記入欄なので、記入しないこと。

	続柄	氏　　名	設置区分	在学学校（学年）	通学区分	前年度状況（国立学校就学者のみ記入）授業料免除状況 前期分	後期分	授業料年額（千円）
就学者			※ 1:国立 2:公立 3:私立	※1小学校 2中学校 3高校 4大学 5高専 6専修学校（高等課程） 7専修学校（専門課程） 8その他 学校名　（　　年）	※ 1:自　宅 2:自宅外	1:無 2:全額免除 3:半額免除	1:無 2:全額免除 3:半額免除	
			※ 1:国立 2:公立 3:私立	※1小学校 2中学校 3高校 4大学 5高専 6専修学校（高等課程） 7専修学校（専門課程） 8その他 学校名　（　　年）	※ 1:自　宅 2:自宅外	1:無 2:全額免除 3:半額免除	1:無 2:全額免除 3:半額免除	
			※ 1:国立 2:公立 3:私立	※1小学校 2中学校 3高校 4大学 5高専 6専修学校（高等課程） 7専修学校（専門課程） 8その他 学校名　（　　年）	※ 1:自　宅 2:自宅外	1:無 2:全額免除 3:半額免除	1:無 2:全額免除 3:半額免除	
			※ 1:国立 2:公立 3:私立	※1小学校 2中学校 3高校 4大学 5高専 6専修学校（高等課程） 7専修学校（専門課程） 8その他 学校名　（　　年）	※ 1:自　宅 2:自宅外	1:無 2:全額免除 3:半額免除	1:無 2:全額免除 3:半額免除	
			※ 1:国立 2:公立 3:私立	※1小学校 2中学校 3高校 4大学 5高専 6専修学校（高等課程） 7専修学校（専門課程） 8その他 学校名　（　　年）	※ 1:自　宅 2:自宅外	1:無 2:全額免除 3:半額免除	1:無 2:全額免除 3:半額免除	

特別控除	母子父子世帯	※　母無：　死亡・生別（　　年　　月） 父無：　死亡・生別（　　年　　月）	□　該　当
	障がい者のいる世帯	続柄（　　）　※ 障がい者　・　原爆被爆者（障害あり） 続柄（　　）　※ 障がい者　・　原爆被爆者（障害あり）	人
	長期療養者のいる世帯	続柄（　　）　療養費（年額）　千円 療養期間　　年　　月から　※　入院・通院・自宅療養	合計（年額）　（千円）
		続柄（　　）　療養費（年額）　千円 療養期間　　年　　月から　※　入院・通院・自宅療養	
	主たる家計支持者の別居	住居・光熱費等（年額）　千円	
	災害・風水害・盗難等の被害を受けた世帯	災害内容　　被災額　千円	

記入上の注意

1．　　の欄は大学記入欄なので、記入しないこと。
2．※印は、該当箇所を〇で囲むこと。
3．記入内容は、**令和７年１０月１日現在**として記入すること。
4．家族の職業は具体的に記入すること。専業主婦、無職等の場合であっても空欄とせず、その旨記入すること。
5．生計を一にする家族全員（世帯全員）とは、申請者と家計支持者（父・母）及び同居別居に関わらず家計支持者（父・母）に扶養されている者。
　例１）別な住所に暮らす祖父母が、父または母に扶養されている場合は同一世帯とみなす。
　例２）同居している兄弟姉妹が働いている場合、同一世帯とみなさない。

記入いただいた個人情報は、免除等選考のために利用され、その他の目的には利用されません。

継続者の後期分免除・徴収猶予の申請方法について

１.「授業料免除（継続）願 兼 前期申請者の家計状況チェックシート」または「授業料徴収猶予（継続）願 兼 前期申請者の家計状況チェックシート」（以下「チェックシート」）の記入

Google フォームでの入力の前にチェックシートを記入してください。（パソコン入力または手書き）※手書きの場合はスキャンして PDF データを準備

２．所得課税証明書の準備

就学者を除く世帯全員の所得課税証明書を準備し、スキャンまたは写真に撮り、PDF または画像データで保存する。

３．Google フォームへログイン

情報基盤センターのアカウントでログインしてください。

４．Google フォームへの入力および申請書類のアップロード

氏名等の必要事項の入力、およびチェックシート・所得課税証明書等の申請書類のアップロードをしてください。

※チェックシートで前期と変更がある場合（No.1 以外の項目で「はい」がある場合）は、授業料免除調書または授業料徴収猶予調書、および該当する証明書類をアップロードしてください。

※入力の際は画面の案内に従ってください。

５．Google フォームの送信

送信まで終われば申請終了です。

問合せ事項がある場合は、学生支援課から電話（024-548-8060）またはメールでご連絡します。